

2025年度事業計画

地力低下や肥料価格の高騰、栽培作物の連作等を背景として、営農活動における土づくりの重要性が増している。一方、農林水産省では「みどりの食料システム戦略」を掲げ、化学肥料使用量の低減、堆肥の活用、有機農業の拡大などを目指している。

これら状況を踏まえ、全国協議会は、各土壤医の会の活動の一層の推進を図ることによって、土づくりの啓もう、普及に取り組んでいく。

活動方針

1. 全体活動（共通の課題への対応）

（1）会員の研鑽、交流の促進、土壤医の会の組織化

①土壤医等資格登録者数の増加と登録更新のための継続研鑽機会の拡大

日本土壤協会ではウェブサイトで提示する演習問題などウェブを活用した継続研鑽（CPD 単位取得）の機会を設けており、一層の活用を呼びかける。

また地域土壤医の会等の主催する研修会について、全国協議会を通じて他の土壤医の会へ広く案内し、研鑽機会の拡大を図る。

②会員間の情報交流の促進

- ・会員間の情報交流促進をねらい、「土壤医の会通信」を発行している（2024 年度までに 18 号発行）。2025 年度も引き続き、土壤医等資格登録者や土壤医の会の活動内容やトピックの紹介等により、会員間の情報交流の促進を図る。
- ・事業体土壤医の会が会の活性化のためどのような工夫をしているかのアンケート調査を準備している。アンケート結果を各事業体土壤医の会の運営上の参考としてもらうとともに、取得した資格を今後に生かしたいと考えている高校生や大学生などにも可能な範囲で周知することで企業へ親近感の醸成や土壤医資格取得へのモチベーション化を図りたい。

③土壤医の会の交流の促進

主として地域土壤医の会を対象にした会の運営上の取組や成果、悩み、活性化策等について自由な意見交換会を web 会議にて実施する。参集範囲は、地域土壤医の会に限定せず、全国協議会に直接加入する会員にも広げ、地域土壤医の会活動の意義を理解してもらう機会としたい。

（2）土壤医の会への活動助成を通じた土づくり普及活動の推進

土壤医の会への助成事業である、①農業高校等において実施される検定試験受験対策講習会への講師派遣②地域土壤医の会による正会員以外を対象とした研修会の開催、③土壤医の会の会員以外の方を対象とした pH 等測・診断相談会④地域土壤医の会が農業関連機関に対して行う土壤医検定試験や土壤医の会の活動紹介等土づくり重要性の P R 事業等を通じ土づくり普及を進める。

(3) 土づくり活動の社会的評価の向上

① 優良土づくり推進活動の表彰事業への対応

優良土づくり推進活動表彰事業は、マスコミの取材をうけるなど、土づくり活動の社会的評価の向上のために極めて重要と考えられる。一方で、農林水産省から表彰を受けるためには、30 件以上の応募件数が必要である。2025 年度も、地域土壤医の会や事業体土壤医の会メンバーのほか、土壤医等資格登録者に対し、日頃の活動成果を取りまとめ、表彰事業への応募を呼びかける。

② マスコミ等を通じてのPR

- ・様々な機会を通じ、土壤医の活動をマスコミにPRするとともに、マスコミから取材依頼等があった場合は積極的に対応する。また、マスコミに掲載された情報については、全国協議会を通じ会員間で共有を図る。
- ・土壤医および土壤医の会の活動をより視覚的にPRするツールとして活動内容を紹介するPR動画を土壤協会と協同して作成し、様々な機会を捉えての活用を図る。

③ 土壤医の会員を対象とした派遣可能講師リストのリバイス(実施済み)

題記講師リストを全国協議会ホームページにて昨年度(25 年 2 月)公開した。

各土壤医の会へは 3 月に修正要否の確認を行い、4 月に更新を行った。

本年度以降も年度末に修正要否を確認し、年度初めの更新を継続する。

2. 各部会の活動

(1) 研鑽部会

土壤医の会の会員拡大、研鑽機会の増加、交流活動の促進、優良土づくり活動の表彰の推進等を図っていく。

① 第9回全国交流大会の開催

正会員、資格登録者や土壤医の会の優れた活動成果の表彰、表彰者からの活動成果の発表を主な内容とする全国交流大会を開催する(10 月 31 日(金) 予定)。

② 研修会の開催、講演会に対する後援

(ア) 研修会の共催

日本土壤協会と共催で、主に資格登録者や合格者を対象とした「レベルアップ研修会」を開催する(2025 年 12 月実施予定)。

(イ) 講演会等に対する後援

土づくり推進フォーラムの講演会、シンポジウムに対して後援を行う。

・土づくり推進フォーラム講演会

日時：2024 令和 7 年 8 月 7 日(木) 13:30 ~

場所：千代田区日比谷図書文化館

テーマ：検討中

・土づくり推進フォーラムシンポジウム

12 月ごろ実施予定(日時、場所、テーマ未定)

(2) 調査研究部会

①地域重要問題研究会の開催

地域土壤医の会と共同で、地域において重要な課題をテーマとして最近の研究成果や現地での取組み成果等を発表し、意見交換を行う。

地域土壤医の会の候補、日時、場所、テーマを検討中。

②土壌診断の推進

農林水産省の補助事業である「AI による土壌診断技術の開発」事業に対して、調査研究部会を中心として対応する。

(3) 土づくり普及部会

- ・農業高校等への検定試験受験対策講習、正会員以外を主対象とする土づくり普及研修、正会員以外を主対象とする pH 等測定診断相談、土壤医検定試験・資格登録制度の認知度向上等のための活動を推進する。
- ・上記活動に対する助成がより活用され実施されやすくするため、助成要綱、公募要領、助成申請・結果報告様式に関して、実態や運用実績に合わせた見直しや申請・報告書式の明瞭簡便化等の運用改善を図る。
- ・また、運用上想定していなかった2点（作業内容に合わせた日当額の設定、および助成対象事業の採択要件としてあいまいであった箇所）について明確化する。（本幹事会の第5号議案にて審議予定）。

3. 定例会議等の開催

(1) 第1回幹事会（本日）

(2) 第2回幹事会（予定）2025年10月31日（金）13:00～14:00 全国家電会館

- ・議 題：1. 2025年度事業の経過報告について
- 2. 第9回全国交流大会の開催について
- 3. その他

(3) 第9回全国交流大会（予定）2025年10月31日（金）14:30～17:00（予定）

全国家電会館 5階講堂

- ・プログラム：
 1. 優良土づくり推進活動の表彰
 2. 表彰者からの活動成果の発表
 3. その他

2025 年度「土壌医の会全国協議会」収支予算
(2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで)

科目	2025年度 予算額(1)	2024年度 予算額(2)	差引増減 (1)－(2)	備考
1. 収入の部				
(1) 会費	5,330,000	5,392,000	-62,000	G会員128名、S会員675名 会員増減見込まず
(2) 事業収入	0	0	0	
(3) 雑収入	1,000	30	970	
(4) 前年度繰越金	3,018,808	3,592,211	-573,403	
収入合計 ①	8,349,808	8,984,241	-634,433	
2. 支出の部				
(1) 事業費	1,550,000	1,250,000	300,000	
調査研究会費	200,000	200,000	0	地域重要問題研究会費用
全国交流大会費	500,000	250,000	250,000	前年実績並み
研修会開催補助	0	50,000	-50,000	2025年度より研修会開催補助と地域土壌医の会活動補助の費目を統合して管理。旧研修会開催補助は前年実績並みの10万円として計上
地域土壌医の会補助	850,000	750,000	100,000	
(2) 幹事会費	500,000	400,000	100,000	前年実績並み
(3) 刊行物購読費	1,920,000	1,868,000	52,000	「作物生産と土づくり」配布、24年度未清算60,000を計上
(4) 広報費	200,000	100,000	100,000	「土壌医の会通信」編集発行費用 及び 土壌医PR動画作成費用
(5) 協会負担金	2,000,000	2,300,000	-300,000	2024年度は前年度未払金300,000円を計上
(6) 雑費	70,000	60,000	10,000	前年実績並み
(1)～(6)小計	6,240,000	5,978,000	262,000	
(7) 予備費	2,109,808	3,006,241	-896,433	
支出合計 ②	8,349,808	8,984,241	-634,433	